

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	広域行政事業			コード	164101
2 担当部課	部等	企画政策部	課等	企画課	作成者 味澤 勝一
3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	広域市町村との連携
		予算科目	広域行政事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	諏訪広域連合規約に定められた事業の実施。		
目的	対象者	市民	
	意図	広域的な事務事業を行うことにより、多様化する行政ニーズに適切かつ効率的に対応していく。	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪広域連合規約に定められた事業（広域消防・介護保険を含む）の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>広域連合議会の開催</li> <li>正副連合長会議の開催</li> <li>副市町村長会の開催</li> <li>担当課長会議の開催</li> <li>担当者会議（婚活事業等）の開催</li> <li>消防体制等検討委員会の開催</li> <li>広域行政研修会の開催</li> <li>諏訪地区小児夜間急病センターの運営</li> </ul> </li> <li>・諏訪広域公立大学事務組合規約に定められた事務の実施</li> <li>・リニア中央新幹線建設促進諏訪地区期成同盟会</li> <li>・市町村合併関係事務として、住民発議による協議会設置請求に対し、関係市町や県と調整を図りながら、関係法令の規定に基づき対応した。</li> </ul>		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険では介護保険法の改正に伴う事務事業の見直し等について協議を行った。</li> <li>・広域消防一元化後の3年間の検証から抽出された課題について検討を行った。</li> <li>・諏訪広域連合で行う婚活事業については、社会福祉課、社会福祉協議会と調整しながら事業への協力をを行っている。</li> <li>・諏訪広域公立大学事務組合の各種会議に出席した。</li> </ul>		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円円で換算）				[単位：円]
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 直接事業費	29,310,219	29,381,483	24,018,502	25,753,000	
経常経費	29,310,219	29,381,483	24,018,502	25,753,000	
臨時的経費	0	0	0	0	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	
正規職員の人数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	
③ 合計コスト (①+②)	31,310,219	31,381,483	26,018,502	27,753,000	
前年度比		100.2%	82.9%	106.7%	
財源内訳	31,310,219	31,381,483	26,018,502	27,753,000	
一般財源					
特定財源					
* 特定財源の説明					
④ コストに関する補足説明	平成29年4月の諏訪広域公立大学事務組合設立により負担金が追加された				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
諏訪広域連合市町村負担金	件数	1	1	1	1
	金額	29,310,219	28,795,262	23,467,599	25,256,000
諏訪広域公立大学事務組合市町村負担金	件数		1	1	1
	金額		586,221	548,503	497,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	29,310,219	29,381,483	24,016,102	25,753,000
	割合	100.00%	100.00%	99.99%	100.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	<p>(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険について、団塊の世代が75歳以上となる平成37年(2025年)を見据え、地域包括ケアシステムの実現をめざし、広域連合と関係市町村が連携し事業を推進することが重要になる。</li> <li>・諏訪地区小児夜間急病センターについて、近年は小児科医が増えない中、圏域の医師会だけでなく近隣病院の医師にも協力を得て運営しているが、将来にわたって土日を含め365日診療体制を維持するための医師確保が運営上の課題となっている。</li> </ul>
	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険では、介護サービス利用や地域支援事業の現状やニーズを的確に把握・分析し、今後どのようなサービスと諸施策がどのくらい必要となり、どのように実施することが望ましいのか、長期的な視点も踏まえて推察し、関係市町村の保健福祉施策や医療機関等と十分に連携して、介護保険事業の適切かつ健全な運営に努める。又、圏域内の介護従事者の実態などについて把握・分析し、人員確保や将来を考慮した人材定着のための施策検討を行う。</li> <li>・諏訪地区小児夜間急病センターは、二次救急病院との機能分担を図り、圏域における一次救急を担う小児夜間急病センターとして安定した小児救急医療を提供するため、医師会等と連絡調整を図り、診療体制の確保に取り組む。</li> </ul>
改善開始時期	平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	
----------	--------	--	--